

株式会社オキサイド シンチレーター単結晶事業を譲受

株式会社オキサイド（以下オキサイド、代表取締役社長：古川 保典）と、日立化成株式会社（以下日立化成、執行役社長：田中 一行）は、日立化成が保有するシンチレーター単結晶事業をオキサイドに譲渡することで合意致しました。

この事業譲渡を受けて、オキサイドは今後日本国内及び世界に向けてシンチレーター単結晶の製造・販売を展開していきます。

● 事業譲渡の経緯

譲渡企業の日立化成は長年にわたりシンチレーター単結晶事業に従事してきており、国内外に優良な顧客を有しています。

譲受企業のオキサイドは、独立行政法人 物質・材料研究機構の研究成果を実用化するために、2000年に設立されたベンチャー企業で、2014年度には経済産業省より「グローバルニッチ TOP100 企業」にも選定されています。これまでに、定比組成タンタル酸リチウム単結晶、定比組成ニオブ酸単結晶を始めとする新しい光機能単結晶の製品化に成功しています。オキサイドでは、その後も研究開発重視の経営を継続し、同時に事業の付加価値を高めるために、素材としての供給だけでなく、単結晶基板を用いたデバイスやモジュールを開発、更には半導体検査装置、高精度計測機などに用いられる深紫外線レーザを開発し、川下部品事業へと事業を展開しております。

● シンチレーター単結晶について

シンチレーター単結晶とは放射線の入射により蛍光（シンチレーション光）を発する単結晶で、医療用、原子力分野、資源探索用他多方面に利用分野が急拡大しています。特に石油、シェールガス探索、そして癌発見の最新鋭装置である PET 診断装置の基幹材料として、世界中の研究機関、企業がしのぎを削っている注目材料です。

